様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物　レタス（ハウス冬どり）栽培暦（令和８年度）

ＪＡきみつ

１．土づくり

・完熟堆肥を投入するか、ふすまを利用した土壌還元消毒を実施する

２．施肥　　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守（①～③の肥料を１つ選択する）

☆化学合成肥料１０ａあたり１２ｋｇまで

	肥料名	施肥量
基肥	①　スーパー有機ペレット555（5-5-5）　（有機態窒素　5）	４８０kg以下
	②　スーパー有機ペレット888（8-8-8）（有機態窒素　3.4）	２４０kg 以下
	③　ジシアン有機特806（8-10-6）　（有機態窒素　2.5）	２００kg 以下
基肥	セルカ又は硫マグ（土壌診断にもとづいて施用する）	１００kg（目安）

３．防除　　化学合成農薬：９成分回数まで　Ｚボルドー（500 倍）は含まれません

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施等）
9 月中旬	は種	オオタバコガ・ハスモンヨトウ ↓ 灰色カビ病・菌核病 ↓	**パレード20 フロアブル(1)**	100 倍 （育苗期後半～定植当日）	菌核病・すそ枯れ病 灰色かび病	
下旬			選択 **プレバソンフロアブル5(1)**	100 倍 （育苗期後半～定植当日）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	**ｼﾞｭﾘﾎﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙについては 2 成分カウントになるので注意**
10 月上旬	定植		選択 **ジュリボフロアブル(2)**	200 倍 （育苗期後半～定植当日）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾖﾄｳﾑｼ ｶﾌﾞﾗﾔｶﾞ・**ｱﾌﾞﾗﾑｼ類**	
中・下旬						
11 月上旬			選択 **レーバスフロアブル(1)**	2000 倍 （収穫 7 日前）	べと病	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴの発生が多い場合は**ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ 5(1)を 2000 倍**にて使用 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾖﾄｳﾑｼの発生が多い場合は**ｴｽﾏﾙｸ DF(0)を 1000 倍**にて使用 ナメクジの発生前にスラゴ(0)を株基に使用
			選択 **ゾーベックエンカティアＳＥ**	4000 倍 （収穫 7 日前まで）		
			選択 **フォリオゴールド(2)**	800 倍 （収穫 14 日前）		
中･下旬			**アファーム乳剤(1)**	1000～2000 倍 （収穫 3 日前）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	
			ディアナＳＣ(1)	2500 倍 （収穫前日）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	
			ウララＤＦ(1)	2000 倍 （収穫前日）	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	アブラムシの発生の多い場合は**ｳﾗﾗ DF(1)を 2000 倍**にて使用
12 月上旬						べと病の発生の多い場合は **ｱﾐｽﾀｰ 20 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(1)**を 2000 倍にて使用
中旬			選択 **スミブレンド水和剤(2)**	1000～2000 倍 （収穫 7 日前）	灰色ｶﾋﾞ病･菌核病	
下旬	収穫 ↓		選択 **ファンタジスタ顆粒水和剤(1)**	2000～3000 倍 （収穫 3 日前）		軟腐病･腐敗病の発生前に**Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ(0)を使用**
1 月上旬			**※（　）内は化学合成農薬成分数**			**化学合成農薬９成分の範囲で、本表に　記載の薬剤　から選択することとする**
中・下旬						

☆みんなで守ろう生産基準

様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物　レタス（露地冬どり）栽培暦（令和７年度）　　ＪＡきみつ

１．土づくり　☆完熟堆肥投入を実施する

２．施肥　　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守（①・②の肥料を１つ選択する）

☆化学合成肥料１０ａあたり１２ｋｇまで

	肥料名	施肥量
基肥	①　スーパーマイルド086号(10-8-6)　（有機態窒素　6.1）	３００kg以下
	②　ゆうき日和084(10-8-4)　（有機由来窒素5）	２４０kg 以下
	③　味好２号(7-2-7)（有機由来窒素7）	１００kg 以下
基肥	苦土石灰（土壌診断にもとづいて施用する）	１００kg 以下

３．防除　　化学合成農薬：**9 成分回数まで**エスマルクＤＦ、スラゴは回数に含まれません

月	管理作業	病害虫の発生推移		薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施等）
９月中旬	は種	オオタバコガ・ハスモンヨトウ		**パレード20 フロアブル (1)**	100 倍 (育苗期後半～定植当日)	菌核病・すそ枯れ病 灰色かび病	
１０月上旬	定植		選択	**プレバソンフロアブル5(1)**	100 倍 (育苗期後半～定植当日)	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類･ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳﾞ	**ジュリボフロアブルについては 2 成分カウントになるので注意**
			選択	**ジュリボフロアブル(2)**	200 倍 (育苗期後半～定植当日)	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾖﾄｳﾑｼ ｶﾌﾞﾗﾔｶﾞ・**ｱﾌﾞﾗﾑｼ類**	
				カセット水和剤(2)	1000 倍 （収穫 7 日前）	腐敗病 斑点細菌病 軟腐病	すそ枯病の発生の多い場合は**ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5(1)を 800 倍**にて使用
			選択	**ディアナＳＣ(1)**	2500~5000 倍 （収穫前日）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴの発生が多い場合は**ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ 5(1)を 2000 倍**にて使用 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳの発生が多い場合は**ｴｽﾏﾙｸ DF(0)を 1000 倍**にて使用 アブラムシの発生の多い場合は**ウララ DF(1)を 2000 倍**にて使用 べと病の発生の多い場合は **ｱﾐｽﾀｰ 20 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(1)**を 2000 倍にて使用 ナメクジの発生前に**スラゴ(0)**を株基に使用
１０月中旬			選択	**アファーム乳剤(1)**	1000～2000 倍 （収穫 3 日前）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	
１０月下旬			選択	**プレオフロアブル(1)**	1000 倍 （収穫 7 日前）		
１１月上旬			選択	**ウララＤＦ (1)**	2000 倍 （収穫前日）	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	
				コルト顆粒水和剤（1）	3000～4000 倍 （収穫前日）	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	
１１月中旬		灰色カビ病・菌核病	選択	**ヨネポン水和剤（1）**	500 倍 （収穫 14 日前）	べと病・軟腐病 腐敗病・斑点細菌病	
			選択	**レーバスフロアブル(1)**	2000 倍 （収穫 7 日前）	べと病	
			選択	**フォリオゴールド (2)**	800 倍 （収穫 14 日前）		
			選択	**ゾーベックエンカティアＳＥ (2)**	4000 倍 （収穫 7 日前）		
			選択				
１１月下旬				**フェニックス顆粒水和剤 (1)**	2000 倍 （収穫前日）	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	**化学合成農薬９成分の範囲で、本表に記載の薬剤から選択することとする。**
			選択	**スミブレンド水和剤(2)**	1000～2000 倍 （収穫 7 日前）	灰色かび病・菌核病	
			選択	**ファンタジスタ顆粒水和剤 (1)**	2000～3000 倍 （収穫 3 日前）		
１２月	収穫		**※（　）内は化学合成農薬成分数**				
１月							

☆みんなで守ろう生産基準